

▶ 茨城県北茨城市

国の重要文化財指定を祝して
「御船祭」を開催したい

「常陸大津の御船祭」は5年に1度、茨城県北茨城市で開催される春の大祭です。平成29年は、通常スケジュールでは開催年ではありませんが、国の重要無形民俗文化財に指定されたことを記念し、臨時開催しました。

毎回、祭りの日には、道路に木材を並べ滑らせるように船を引いていくため、祭りの度に船が傷み、修繕費用の確保が課題でした。これまで、地元を中心とした寄附、御船祭保存会の会費等で、祭りを開催してきましたが、今回の臨時開催にあつ

ては、既存の資金調達

に限界があったため、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングで開催費用を募ることとしました。

寄附者に対しては、積極的に祭りへの来場を働きかけるとともに、祭り当日の様子は市のウェブサイトにおいて掲載しました。



神輿を積み、引かれる船



祭り最大の見せ場
船の進行方向を直角に変える場面

注力した点や
工夫した点

ふるさと納税の募集にあたっては、祭りの見所である船を引く様子だけでなく、地域が一体となって祭りを盛り上げていることを写真を交えて示すことで、寄附者の共感を得ることができました。

Check

取組の効果

今回集まったふるさと納税は、船の修繕に加え、仮設観覧席の増設にも活用し、これまでよりも多くの方が祭り最大の見せ場を見ることが出来る環境を整えました。そうしたこともあり、臨時開催にも関わらず前回開催時の13万人を超える、16万人の見物客で賑わいました。

クラウドファンディング型のふるさと納税で募集したことで、祭りの開催費用を集めるだけでなく、市の魅力を全国に発信する手

段としても有効であったと考えています。

今後も、ふるさと納税で得られた寄附者との縁を大切に、御船祭の文化継承・魅力発信に努めていきます。



ソロバン（木枠）の上を走る船



船を引く子ども達

寄附者の声



・ 伝統文化を守ることは大変重要だと思います。どうか先人たちの祭りに込めた願いを絶やさないように守ってください。応援しています。

住民の声



・ 5年に一度の御船祭の臨時開催を見ることができて、とても得をした気分です。今後も盛り上げていきましょう。